政策名	子ども	の未来	と文化をはぐくむまち		12	活力ある学校づくり							基本	事業番号·名	12-	-02			確かな学	力の育成										
	所管課係名	T						7T #	1454	成果指標との結果の	(意図したこ)数値指標化)				事業費、	、人件費														
事務事業	所管課長名					<b>東政事業の早</b> め		指標 (値指標化)	次年度 目標値	- XX IE 18 18 10 /			記「事業費	(実績額)	」に係る財源			単位当たり コスト	目標達成率	· 龙车										
番号					(	事務事業の目的 事務事業の対象、手段、意図)	指標		指標 (単位)	- 目標値	事業費(実績額)		特定財源		一般財源	人件費 (理論値) ②	トータル コスト ①+②				評値	fi .								
	事務事業名							(単位)	実績値	指標の種類	実績値	(千円)	国	都	その他	特定財源に伴 う一般財源 一般財源	(千円)	(千円)	円	%										
	指導室	+8 +hn	自主的 (条例・規則等) □ (法律・政令等) □ (法律・	務的 ・政令等	等) 終期	分象	市立小学校第6学年児童、市		平成27年度	平成28年度 目標値	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度 平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	善の余地がある	度改正の 地がある	29年度の方向性	現状維持						
	指導係	根拠 法令 等				八水	立中学校第1学年生徒		20	10	0	19, 127				19, 12	825	19, 952	997, 600		説明:移動教室実行委員会 て、長年実施してきた中で となっており、現状では改	、現在の内容	総合評価(課題・方) う体験活動は、自然 愛する心や態度を養	こ親しみ、自然を						
	指導室長参事事務取扱 宍戸 敏和				L I	事業	小学校は実行委員会でコース 等を確認し、実地踏査を行っ			自然に親しみ、集	100	Í				,		,	,		N.		行動を通して規範意 好の機会となってい	職を身に付ける絶 る。また、事前学						
		尹未	□ 該当 □ 行政 □ 政策的(改正実施年度	年度	雙) │ 給付 │ □ 該当	内容実施後に	た後に移動教室を実施。全校 実施後に実行委員会で報告会	実施回数	平成26年度	団生活に 対する態	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度 平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度			習等を実施すること 徒がそれぞれの課題 する力やグループで	をもって自ら学習						
12-02-01		工米已	□該当 □ 上乗せ □ 横出し			活動 手段	夕 由学长は12.0日本で古匠	(20校×1	20	度を育ん だ児童・ 生徒数/		19, 435				19, 43	815	20, 250	1, 012, 500		効率性     3     達成度       説明:児童・生徒一人当たりのコスト面	養う良い機会となった。								
	小中学校移動教室 事業	特定 財源 事業	の有無	推助			する。	-		移動教室 に参加し	100										も妥当であり、小学校につ 交流のある榛名地域を活用	いては地域間 し、協力を得								
		形態近隣市	態 ■ (委託無) □ 委託 □ 委託 □ 管理 □ 金 構市 況 ■ 小平市 ■ 東村山市 ■ 清瀬市 ■ 西東京市	金	口 その他 ( )	目的	自然に親しみ愛する心や態度 が養われ、心の触れ合いを深		平成25年度	た児童・ 生徒数 (%)	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度 平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	ながら連携を図り実施して な運営ができている。	おり、効率的								
	-	状況			□ その他 ( )	· 意図	みるレレモ 切力して作用		20	増加を目		19, 119				19, 119	845	19, 964	998, 200											
		その他	実行プラン ロ 対象 アトロー		40 40				T +07 fr #	指す指標	- 100	T +07 fr fr	= ±03 = ÷	T +03/r +	T +03 to th	T-07-F-F-T-07-F-F	+03 <i>-</i>	T +07 + +	= ±03.5 ±	T +07/5 +	業務フローに改制服	<b>変改正の</b>	20左连の士白州	TB 44 44 +4						
	指導室 指導係	根拠	□ (条例・規則等) □ (法律・政令等) ■ (法律・ ・新学習指導要領(文部科学省)	・政令領	等)   ***	対象	市立小学校第1~4学年児童	-	平成27年度	目標値	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度 平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	善の余地がある 余 <sup>1</sup> 説明:長年継続的に実施す	余地がある する中で、改善	29年度の方向性 総合評価 (課題・方)							
	指導室長参事事務取扱	等	★令 ・小学校英語活動支援講師認定要領						1, 293	100	2, 348				2, 34	309	2, 657	2, 055		を図ってきており、これ以い。	上の余地はな	は、児童の日常生活( を扱うことに重点を) ら英語に慣れ親しむ。	置き、楽しみなが							
	宍戸 敏和	補助	□ 該当 □ 行政 □ 政策的(改正実施年度	策的(改正実施年度 年度) <mark>給付</mark> 口 該当		事業内容	小子仪男Ⅰ~4子年のⅠ子被		平成26年度	異文化理 解及びコ ほミュニ	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度 平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度			に工夫することが大 小学校児童が異文化	刃である。また、 理解及びコミュニ						
12-02-02		サネ ナルウ	□ 該当 □ 上乗せ □ 横出し		争耒	· 活動	あたり、8時間の外国暗活動 を実施するために英語活動補 助影道員を配置する	外国語活 動の実施 時数 (時		ケーション能力の												童成度 /	ケーション能力の向. は重要である。 今後も、小学校英語							
	小学校英語活動事 業	杜山	□ 該当 廃止予定 □ 該当 (廃止年度 年	<b>F度</b> )		手段	MINTERE / DO	間)	3, 428	同上した 児童数/ 外国語活	100	6, 214				6, 21	612	6, 826	1, 991				る必要がある。なお、 動にもALTを導入 <sup>*</sup>	, 小学校の英語活 する必要があり、						
		事業形態	直営 全部 □ 一部 指定 □ 委託 □ 委託 □ 管理 □	補助金	□ その他 ( )		外国語を通じて、言語や文化	-	平成25年度	動の授業 を受けた	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度 平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	<ul><li>(ALTの活用)」に移行 6年度との単なるコストの</li></ul>	しており、2 比較は困難で	5・6年生については ALT活用事業に移行							
		·c/**±	■ 小平市 ■ 東村山市 ■ 清瀬市 ■ 西東京で		□ その他 ( )		の多様性について体験的に理 解を深めるとともに、外国語			_児童数 (%)											はあるが、費用総額では減 た。	観につなかっ								
	-	その他	財政健全経営計画 実行プラン ロー対象 外部評価	価	□ 対象(平成 年度)	の育成を図る。	でのコミュニケーション能力 の育成を図る。		3, 426	増加を目 指す指標		6, 168				6, 16	634	6, 802	1, 985											
	指導室		自主的 義務的 努力義利 (条例・規則等) □ (法律・政令等) □ (法律・	務的 ・政令等	等)終期	첫호	市立小・中学校								平成27年度	平成28年度 目標値	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度 平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	善の余地がある 余地	度改正の 地がある	29年度の方向性	現状維持
	指導係	根拠 法令 等	以自由 <u>别加力</u> 甘入拔大 <u>爬</u> 女网(III)			N A	専門的な知識や技能を有する		62	1	8	840				840	) 417	1, 257	20, 274		説明:業務に関する手続きについては改善の余地はない。	心に児童・生徒の学習活	習活動の援助を行							
	指導室長参事事務取扱 宍戸 敏和					**					17							1,20.	20, 21.				うことは、児童・生徒のま 指導を充実させるため、必 ある。なお、本事業は、地 や有識者・経験者を招いて しているため、児童・生徒	め、必要不可欠で は、地域の専門家						
			山 該国 山 補完的 山 政策的 (以正美施平度	年度	度) 給付 □ 該当	内容	業 市民に教育活動協力者 (ゲス容 トティチャー) として授業等 に参加してもらう。また、教養 接をしてもらう。また、教育活動の支達な系の学生に教育活動の支	等 支 授業にか 教育 活動 協力者の	平成26年度	<b>t</b> 特色のある授業を 実施した	あった	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度 平	平成26年度 平成26年度	平成26年度	更 平成26年度 平成26	平成26年度	平成26年度		・生徒は、地域性								
12-02-03			□該当□上乗せ□横出し			手段			68			1, 392				1, 395	412	1,804	26, 529		効率性     5       説明:     平成25年度から		<ul><li>✓ や特色のある学習を行る。</li><li>✓ なお、平成25年度</li></ul>	度から本事業内で						
	教育活動支援事業	知源	07年無	接			援をもらう。	人数(人)		小・中学 校数(校)	17										行的に実施してきた補習教 は、平成27年度からは全	室 (土曜塾) 小学校で本格	試行的に実施してい 塾)は、平成27年 で本格実施となった。	度からは全小学校						
		近隣士	■ 直営 全部 一部 指定 口 委託 口 委託 口 管理 口			目的	学校教育活動の発展的な創意 工夫や充実に向け、地域の人		平成25年度	E .	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度 平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	実施となり、土曜塾事業に 費用総額が減額した。	移行したため	で不同人地ではプル							
	-	状況	■ 小平市 ■ 東村山市 ■ 清瀬市 □ 西東京市 財政健全経営計画 □ 社会 □ ロロボ		□ その他 ( )	• 意図	おお活用1 学校伝に転布の				60	増加を目		1, 247				1, 24	427	1,674	27, 900									
		その他	実行プラン 以外 外部計1		□対象(平成 年度)				平成27年度	指す指標	14	亚弗27年中	亚世97年由	亚世97年中	亚走97年度	平成27年度 平成27年度	可供27年度	亚击97年度	亚出97年中	W # 27/年 #		<b>変改正の</b>	29年度の方向性	現状維持						
	指導室 指導係	根拠法令	■ 目主的 □ 素務的 □ 努力義材 □ (条例・規則等) □ (法律・政令等) □ (法律・	・政令領	等)	対象	市立小学校第6学年児童 市立中学校第2学年生徒		平成27年度	目標値	0 平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成2/年度 平成2/年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	説明:音楽鑑賞教室実行委		  総合評価(課題・方	句性):音楽の生						
	指導室長参事事務取扱	等						=	1	10	100	3, 054				3, 05	413	3, 467	3, 467, 000		げて、長年実施してきた中 容となっており、現状では ない。		演奏を実際に聞き、 積むことは、心豊から 成には欠かすことが	な児童・生徒の育						
	宍戸 敏和	補助	□ 該当 □ 行政 □ 政策的(改正実施年度	年度	度) 給付 □ 該当	事業内容	り上げ、果尽都父響楽団によ		平成26年度	音楽に対する愛好	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度 平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度			であり、この機会をい。また、数少ない	失うことはできな 小・中学校連合行						
12-02-04		争未	満元的   横出し		争未	活動	の演奏を鑑員。 午前:小学校、午後:中学校	実施回数		心や感性 を育み、 豊かな情											効率性 3 道	達成度 /	事であり、実行委員 小・中学校の連携・ 会にもなっている。							
		特定	□ 該当 廃止予定 □ 該当 (廃止年度 年	手度)		手段	施。	(E)	1	操を養っ た児童・	100	2, 984				2, 98	408	3, 392	3, 392, 000				-							
i	音楽鑑賞教室事業	事業形態		補助金	□ その他 ( )		プロのオーケストラによる生	-	平成25年度	生徒数/ 参加児童 数・生徒	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度 平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	はない。									
		北京隊士	■ 小平市 ■ 東村山市 ■ 清瀬市 ■ 西東京で		□ その他 ( )	目的	演奏を聞く機会を設けて、音楽を愛好する心情と音楽に対 する感性を育てるとともに、			数(%)		_						_												
		その他	財政健全経営計画 実行プラン コー 対象 外部評(	価	□ 対象(平成 年度)	恵図	豊かな情操を養うことを目的 とする。		1	増加を目 指す指標		2, 871				2, 871	423	3, 294	3, 294, 000											
			1		1		ı	•	•								•		•	v	•		1							

政策名	子ども	の未来	と文化をはぐくむまち	施策番号•名	12	2	Ì	活力ある	学校づく	b				<b>基本事業番号・名</b> 12-02 確かな学力の育成					確かな学力の育成					
	所管課係名						江新	助指標	成果指標との結果の	(意図したこ 数値指標化)				事業費、	、人件費					T				
事務事業	所管課長名					<b>東東京</b> ※○□45		別	次年度 目標値	X IE 10 (X 10)		左	記「事業費	(実績額)	」に係る財源		l	単位当たり コスト	目標達成率					
番号					(事)	事務事業の目的 務事業の対象、手段、意図)	北海		指標(単位)	- 目標値	事業費 (実績額) ①		特定財源		一般財源	_ 人件費 (理論値) ②	トータル コスト ①+②			評価				
	事務事業名						指標 (単位)	実績値	指標の種類	実績値	(千円)	国	都	その他	特定財源に伴 う一般財源 一般財源	(千円)	(千円)	円	%					
	指導室	根拠	□ 自主的 □ (条例・規則等) □ (法律・政令等) ■ (法律・政	的 (2令等) 終期	対象市	5立中学校生徒及び市立小学	:	平成27年度	平成28年度 目標値	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度 平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	書の赤地がめる	29年度の方向性 現状維持			
	) A THE	法令等	·新学習指導要領(文部科学省)		校	第5・6学年児童		3, 313	100		8, 980				8, 980	619	9, 599	2, 897	. /	り、人材管理や緒手続き等は効率的に実 英	会評価(課題・方向性):中学校の 語の目標は、コミュニケーション能 の基礎を養うこととされており、外			
	指導室長参事事務取扱 宍戸 敏和	1-P DL	42. Th	6A #+		学級あたり、中学校で年間 6時間、小学校第5・6学	5 対象とな		外国語のコミュニ	100										国援	引人(ALT)による英語学習への支 が重要視されている。なお、平成2			
		サネ ナルウ	□ 該当 □ 行政 □ 政策的(改正実施年度 補完的 □ 政策)	年度) 事業 口 該当	<b>内容</b> 年 ・ 英	○で35時間、外国人による ○語指導補助員(ALT)を		平成26年度	ン能力を	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度 平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	語	年度より小学校第5・6学年の外国 活動にもALTを導入した。小学校 ○は外国語活動の教科化が検討されて			
12-02-05		上乗せ	□ 該当 □ 上乗せ □ 横出し □ 該出   廃止予定 □ 該出   廃止年度 年度		手段で	(遣する。(平成25年度までは、中学校年間9時間・小学校は27年度より実施)	る学級数 (クラス)	1155	高めた児 童・生徒 数/外国		2, 481				2,481	1 612	3, 093	2, 678		効率性   3   達成度   おな   おおま   おおま   おまま   おまま   ままま   ままま   ままま   まままま   まままままままま	5り、今後は小学校への拡大が課題と さる。			
	外国人による英語 教育事業	財源事業	□ № □ の有無 □ № □ ペルエー及 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				1	TI # 05 /F #	人による 英語指導	100	T +0. +	可卡尔左	可せのことを	π. <b>÷</b> 0Γ.σ.φ.		T #05 # #	可卡尔左右	立 405 左 由	W + 05 / = #	学年の外国語活動が本事業に組み込まれ、ALT導入を図ったため総事業費は				
		形態 近隣市	□ 直営 全部 □ 一部 指定 □ 補 □ (委託無) ■ 委託 □ 委託 □ 管理 □ : ■ 小平市 ■ 東村山市 ■ 清瀬市 ■ 西東京市	i助 金 □ その他 ( )	目的の	√国語を通じて、言語や文化 ○多様性について体験的に理 ₹を深めるとともに、外国語		平成25年度	を受けた 児童・生 徒数(%)	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成25年度	平成25年度 平成25年度	₹ 平成25年度	平成20年度	平成25年度	平成25年度	加入した。 7				
		状況その他	財政健全経営計画 口 対象 外部証価		意図で	でのコミュニケーション能力 )育成を図る。		1215	増加を目	100	2, 522				2,522	2 634	3, 156	2, 598						
	指導室		実行ブラン 3		d	〜学校第3・4学年児童及び	,	平成27年度	指す指標 平成28年度 目標値		平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度 平成27年度	更 平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	業務フローに改 制度改正の / ・	29年度の方向性 現状維持			
	指導係	根拠法令	(III) (III) (III) (III)		対象   中	·学第1学年生徒			100											説明:現状に改善の余地はない。 総	  合評価(課題・方向性):社会科学  において、東久留米市の地域に関す			
	指導室長参事事務取扱 宍戸 敏和	等						1,857	市の歴	100	1, 204				1, 204	4 248	1, 452	782		iz.	が単元の学習を確実に充実させるため こ、作成している。26年度は、新た こ小学生第3・4学年向けに市の地図			
		補助 事業	□ 該当 □ 行政 □ 政策的(改正実施年度	年度) 給付事業 口該当		会科副読本作成委員会等で  読本(東久留米市に関す	11 스성패	平成26年度	史・市政 全般につ いての理	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度 平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	を た	作成したために、事業費を増額し 。今後も児童・生徒の東久留米市の			
12-02-06		工来已	□該当 □ 上乗せ □ 横出し		注動 つ	読本(東久留米市に関す  ) を作成し、各学校の当該  年に配布。	読本作成部数(部)	1, 767	解が深 まった児		1, 147				1,147	7 245	1, 392	788		効率性 3 達成度 は	地域性の理解のために、副読本の作成 は必要である。			
		別源	□ 該当 廃止予定 □ 該当 (廃止年度 年度 年度 円						童・生徒 数/社会科 副読本を	. 100	,				,,,,,		,			説明:平成27年度は、26年度と同様 の内容で作成しており、新たな副読本等 の作成がなかったため、効率的な実施が				
	事業	事業形態	■ 直営 全部 一部 指定 補 (委託無) □ 委託 □ 委託 □ 管理 □ 3	i助 金 □ その他( )	目的小	学校第3・4学年、中学第	;	平成25年度	配布した 児童・生	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度 平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度					
		近隣市 状況	■ 小平市 ■ 東村山市 ■ 清瀬市 ■ 西東京市 財政健全経営計画 □ 計象	1	1.45	学年が東久留米市の歴史・ 域・市政全般について知り 域理解が深まる。		1, 808	徒数(%)		767				767	7 254	1,021	565						
		その他	実行プラン □ 対象 □ が即計画		-				増加を目 指す指標 平成28年度	. 100										- 業務フローに改 制度改正の /	00 fr fr o 1 fr 11 TELL 15 68 14			
	指導室 指導係		自主的 義務的 努力義務 (条例・規則等) □ (法律・政令等) □ (法律・政 ・東久留米市日本語学習指導講師派遣実施要綱	(令等)	対象 市	市立小・中学校帰国児童・生 徒及び外国人児童生徒	生は・な日本語学		平成27年度	目標値	平成2/年度	平成2/年度	平成2/年度	平成2/年度	平成2/年度	: 平成27年度 平成27年度	平成2/年度	平成2/年度	平成2/年度	平成2/年度	基の余地がある     余地がある       説明:長年実施した中で、現状の運用と     総	29年度の方向性 現状維持 合評価(課題・方向性): 近年外国		
	指導室長参事事務取扱	等								14	14		14	100	968				96	413	1, 381	98, 643		理
	宍戸 敏和	補助	□ 該当 □ 行政 □ 政策的(改正実施年度	n □ 政策的(改正実施年度 年度) 給付 □ 該当	事業外外	・ 外国から帰国する日本人又は 外国から来日し、市内の小・ 中学校へ通う日本語の出来ない児童・生徒に対し、日本語 と習指導員を配置して、日本		平成26年度	日本語を 理解し、理 授 で う は た り に り に り に り に り に り に り り り り り り り	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度 平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	あ竜	っる。この数年間で、支援が必要な児 ・生徒の増加の影響でコストは増額			
12-02-07			□ 該当 □ 上乗せ □ 横出し	争未	活動。					解できる ように											効率性 3 達成度	ている。		
		4+ 宀		:)	手段語	を指導する。		11	なった児 童・生徒 数/日本語	100	756				756	6 408	1, 164	105, 818		日本語学習指導員については、謝金等の見直しも無く実施しており、コスト面の				
	業		■ 直営	i助 金 口 その他 ( )			1	平成25年度	指導を受 けた児 童・生徒	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度 平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	変動はない。				
		近隣市 状況	■ 小平市 ■ 東村山市 ■ 清瀬市 ■ 西東京市	口 その他 ( )	· 童	B国児童・生徒及び外国人児 ☑生徒が日本語を理解し、授 雲が理解できるようにする。		7	数(%)		452				455	2 423	875	125, 000		1				
		その他	財政健全経営計画 実行ブラン ロ対象 外部評価					,	増加を目 指す指標	100														
	指導室 指導係	根拠	■ 自主的 ・ 集務的 ・ 集別・規則等) (法律・政令等) S 力義務 ・ 東京都立高等学校入学者選抜実施要綱・同細目	(令等) 終期	対象 市	i立中学校第3学年生徒		平成27年度	平成28年度 目標値	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度 平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度		29年度の方向性 現状維持 合評価 (課題・方向性): 都が主催			
	指導室長参事事務取扱	法令等	· 米尔伊亚同亚于汉八十七. 这次大爬女柄 · 问加口				1	2			19		19			206	225	112, 500		会事業であり、市としての改善の余地は す ない。 り	「る成績一覧表調査委員会事業であ 、各中学校における評定状況等の事			
	央戸 敏和	補助	□ 計业 □ 行政 □ 政策的(Artspice	左东\ 給付 a + w	事業				/											書	「確認を通して、成績一覧表及び調査 は記載される目標に準拠した評定の は、記述される目標に準拠した記述される目標に準拠した記述される目標に準拠した記述される目標に準拠した記述される目標に準拠した記述される目標に準拠した記述される目標に準拠した記述される目標に準拠した記述される目標に準拠した記述される目標に準拠した記述される目標に準拠した記述される目標に準拠した記述される目標に表述される目標に表述される記述される目標に表述される記述される記述される記述される記述される記述される記述される記述される記			
12-02-08		事業	□ 該当 □ 行政 □ 政策的(改正実施年度 □ 該当 □ 上乗せ □ 横出し	年度) 事業 □ 該当	内容 成	な績一覧表調査委員会を年2 ]開催する。	成績一覧 表調査委 員会の開	平成26年度	-	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度 平成26年度	半成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	\$\\ \tau \\ \t	いことから、実施する必要がある。 お、財源は、都補助率10/10で			
	_1.64 PF + 3m + 45	特定	□ 該业 廃止予定 □ 該业 / 廃止年度 年度	:)	手段		展出数 (回)	2	/		18		18	18 年度 平成25年度 平成25年度 平成2:		204	222	111,000		説明:事業費の財源は都からの歳入で	>る。			
	成績一覧表調査委 員会事業(都指 定)	事業	□ 該当   の有無   □ 該当 (廃止 + 及 + 足				1	平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度		平成25年度   平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	期っており、効率的に運営している。 - - E				
	}	形態 近隣市 状況	■ 小平市 ■ 東村山市 ■ 清瀬市 ■ 西東京市		日刷口	「立中学校第3学年生徒が、 「標に準じた絶対評価による お績で、正しく一覧表に記載		平成25年度	/		夏 平成25年度		5年度 平成25年度		25年度 平成25年度 平成25年度			E 平成25年度		,				
		近隣市 状況	財政健全経営計画 実行プラン ロ対象 外部評価	1	意図 さ	(頼び、止しく一覧表に記載 :れていることを確認する。	1	2			16		16			211	1 22	113, 500						
			2017-75	l	1		1	1		$\checkmark$			I	I	I	1	<u> </u>	<u> </u>	V	<u> </u>				

政策名	子ども	の未来	と文化をはぐくむまち		施策番号·名	12 活力ある学校づくり									基本事業番号·名 12-02						確かな学力の育成						
	所管課係名							77.43	1464	成果指標との結果の	(意図したこ)数値指標化)				事業費、	、人件費											
	所管課長名	<del> </del>							動指標 (植指標化)	次年度	/ 数 № 181未 IC /		左	記「事業費	(実績額)	」に係る財源			単位当たり コスト	目標達成率							
事務事業 番号		事務事業の概要			(;	事務事業の目的 事務事業の対象、手段、意図)			目標値	目標値	事業費(実績額)		特定財源		一般財源	人件費 (理論値)	トータルコスト	371			評	<b></b>	展題・中央 (大学では、新年では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学				
	事務事業名						指標 (単位)	実績値	(単位) 指標の種類	夏 実績値	(千円)	国	都	その他	特定財源に伴 一般財源	(千円)	①+② (千円)	円	%	96							
	指導室	+= +60	■ 自主的 ■ (条例・規則等) □ (法律・政令等) □	努力義務的 (法律・政	5 令等) 終期	分会	市立小・中学校児童・生徒		平成27年度	平成28年度 目標値	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度 平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	業務フローに改 善の余地がある	制度改正の 余地がある	29年度の方向性				
	指導係 指導室長参事事務取扱 宍戸 敏和	根拠 法令				<i>A</i> 136	市业分 平于以儿童 工匠		3, 550			1, 956				1,950	6 83	2, 039	574		説明:学力調査の問題計、各データー作成にており、改善の余地に	こついては、委託し	上を図るために本市の 達段階に応じて学力の ことは重要である。	の児童・生徒の発 の実態を把握する このことから、小			
		補助事業	□ 該当 □ 行政 □ 政策的(改正実施	5年度 :	年度) 給付 口 該当	事業 内容	児童・生徒の発達段階に応じ	学力の調	平成26年度	/	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度 平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度			5 学年から中学校第	1 学年及び中学校			
12-02-09		+*+	はせ □ 該当 □ 上乗せ □ 横出し		活動	て学力の調査を実施する。	宜を夫施 した児		/											効率性 3 達成度	7 2 年間の児童・生徒- 等実態を把握し、小	-人一人の伸び率 ・中学校それぞれ					
		特定 財源 □ 該当 廃止予定 の有無 □ 該当 (廃止年度 年度)	)	手段		童・生徒 数(人)	2, 745	/		1, 417				1,41'	7 82	1, 499	546			: 平成27年度は調査対象に小学校 Eを新たに加えたため、総事業費は	改善を進める。なお、	、小学校低学年の					
	学力向上支援事業	事業形態	直営 全部 ■ 一部 指記 □ (委託無) □ 委託 ■ 委託 □ 管理	定相	助	)	日本 4.4.0%生即附足中区		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	度 平成25年度 平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	拡大となったが、単位 価格に変動はなく、ダ						
		`C!!%±			□ その他( )	目的	児童・生徒の発達段階に応じ て学力の実態を把握し、授業 のきめ細かな工夫・改善に努			/											<b>ం</b> .						
		その他	財政健全経営計画 コ 対象	外部評価	□ 対象(平成 年度)	意図	のさめ細かな工大・以書に労 め、学力の向上を図るため。		2, 825			1, 379				1,379	85	1, 464	518								
	指導室		自主的 (条例・規則等) (法律・政令等)	努力義務的 (法律・政	勺 令等) 終期				平成27年度	平成28年月	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度 平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	業務フローに改 善の余地がある	制度改正の 余地がある	29年度の方向性	現状維持			
	指導係	根拠法令				対象	市立小・中学校児童・生徒			10	0										説明:副読本の配布に いては、特に改善点に		基本的な学習内容の第	定着や発展的な学			
	指導室長参事事務取扱 宍戸 敏和	等				事業児な			8, 304	基礎的•	100	12, 504				12, 504	4 248	12, 752	1, 536				連した副読本や補助	教材は、個に応じ			
		補助 事業	□ 該当 □ 行政 □ 政策的(改正実施	5年度 :	年度) 給付 口 該当		容	副読本補	平成26年度	基本的な 学力が定 着し発展	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度 平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度			しかし、学校の活用*本を精選する必要も	状況を把握し副読 あり、平成27年			
12-02-10		市独自 上乗せ	□ 該当 □ 上乗せ □ 横出し			活動 手段		助教材を 配布した 児童・生	8, 311	相じ光展 的な学習 を進めた		13, 944				13, 94	4 245	14, 189	1, 707	, /	効率性 4	達成度	度については、小字型本を一部見直した。	交で使用する副読			
	副読本等に関する	特定 財源	□ 該当 廃止予定 □ 該当 (廃止年度	年度	)			徒数(人)	0, 311	児童生徒数/副読	100	13, 344				13, 54	1 240	14, 103	1, 101		説明:児童・生徒一ノ 設定しており、効率的						
	事業	事業 形態	■ 直営 全部 一部 指別 (委託無) 母託 母託 母託 管理	定 口 補原理 口 金	助 口 その他 ( )				平成25年度	本を活用 した児 童・生徒	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度 平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	<b>ీ</b>						
		近隣市 状況	■ 小平市 ■ 東村山市 ■ 清瀬市 ■ i	西東京市	□ その他 ( )	目的 児童・生徒の基礎的・基本() な学習内容の定着や発展的: 意図 学習を推進する。		8, 378	数(%)		14 170				14 174	0. 954	14 494	1 700									
		その他	財政健全経営計画 実行プラン 対象	外部評価	□ 対象(平成 年度)		1 1 2 1 1 1 2 1		0, 370	増加を目 指す指標		14, 170				14, 170	254	14, 424	1, 722								
	指導室	+8 +hn	□ 自主的 □ (条例・規則等) ■ 義務的 (法律・政令等) □		5 令等)終期	対象	市立小・中学校児童・生徒		平成27年度	平成28年度 目標値	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度 平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	業務フローに改 善の余地がある	制度改正の 余地がある	29年度の方向性				
	指導係	根拠 法令 等	<b>義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関</b>	置に関する法律		7134	17 L L L L L L L L L L L L L L L L L L L		3			269				269	9 300	569	189, 667	. /	説明:採択方法等は、 ものであり、改善の余り		採択年は4年に一度では	であるが、新たに			
	指導室長参事事務取扱 宍戸 敏和											200				351			100,001				る場合は、選定調査	委員会及び資料作			
		補助 事業		5年度 :	年度)   給付   口 該当	事業 内容	朴用凶書を選正調査委員会で	び 選定調査	平成26年度	/	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度 平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度			は小学校教科書採択の	の年度で、27年			
12-02-11			□ 該当 □ 上乗せ □ 横出し			活動 手段			3	/		284				284	4 296	580	193, 333			達成度		かかった。			
	教科書採択事業	知源	□ 該当 廃止予定 □ 該当 (廃止年度 の有無 □ 該当 (廃止年度					(四)													説明:26年度は小学 7年度は中学校の採択 性に大幅な変動はなか	7年度であり、効率					
		事業 形態			助 口 その他( )	目的	採択の対象となる教科書につ		平成25年度	/	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度 平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	121-3 VIII 3-3C33VII- 311	- 1-0					
		近隣市 状況	■ 小平市 ■ 東村山市 ■ 清瀬市 ■ i	西東京市	口 その他 ( )	·	いて、十分調査研究を行い、 公正に審議する。		0	<u>/</u>		0					307	307	#DIV/0!								
		その他	美打フラフ	外部評価															-		#数30 / 3t	制度表示の	1,	& ♪ / 宁フ . 紘 <b></b> 会			
	指導室 指導係	根拠	■ 自主的 (条例・規則等) □ (法律・政令等) □ ・言語能力向上推進事業実施要項(東京都)	法律・政	令等) 終期	対象	市立小・中学校		平成27年度	平成28年月 目標値	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度 平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	業務フローに改善の余地がある 説明:東京都の規定に	制度改正の 余地がある なまごき手続きを進	29年度の方向性 総合評価 (課題・方)	秦止(完了・統合含 む)			
	指導室長参事事務取扱	法令等	日間記が円上」にとず来入心女子(木が配)						1	10	0	500		500			79	579	579, 000		めるため改善点はない		に対するニーズの高さ 童・生徒の思考力・	まりを受け、児 判断力・表現力等			
	日等主成のサラ伤収収 宍戸 敏和	龙武 Bh	4+ DL 6= 74-	<b>給付</b>	事業	東京都が言語能力向上推進校			-	100												を育成するため、活空くりを通して言語能 要がある。なお、東京	力の向上を図る必				
40		<b>学</b> 木	□ 該当 □ 行政 □ 政策的(改正実施	五年度 ·	年度) 事業 □ 該当	内容	を相定し、子校図書館を活用 した各教科の授業、意見の異 かる妻同士の封禁・封禁等に	指定され	平成26年度	自曲能力 の向上が	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度 平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	414-11		あり、財源は、都補見 ある。指定校につい	助率10/10で			
12-02-12		杜中	□該当 □上乗せ □ 横出し 原止予定 □ 詩水 (床上午午			活動 手段	かかる専門家を招聘した授業 及び教員研修を行う。	た学校数 (校)	2	図られた 児童数/指		1,000		1,000			155	1, 155	577, 500		効率性   3   説明:事業費は、東京		度で終了となった。				
	言語能力向上推進 事業	財源事業	□ 該ョ			-			m short	定校の在 籍児童数 (%)	100	m=805/ =					- m.hos. :	m=8051 ::	m short it		賄っており、効率的に						
		形態	■ (委託無) □ 委託 □ 委託 □ 管理				活字に親しむ学校づくりを通		平成25年度		平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度 平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度							
		状況	■ 小平市 ■ 東村山市 ■ 清瀬市 ■ i  財政健全経営計画  実行プラン □ 対象				して、児童の言語能力の向上 を図る。		2	増加を目		1, 189		1, 189			161	1, 350	675, 000								
		その他	実行プラン 口対象	外部評価	□ 対象(平成 年度)	1				指す指標									<u> </u>								

政策名	子ども	の未来	そと文化をはぐくむまち	12 活力ある学校づくり								基本	事業番号·名	<b>号・名</b> 12-02 確かな学力の育成																							
	所管課係名	3 事務事業の概要			T			16.1=	成果指標との結果の	(意図したこ				事業費、	、人件費							29年度の方向性 現状維持 総合評価 (課題・方向性):本事業 は 教育評価 (課題・方向性):本事業 は 教育 (課題・方向性):本事業 と を 会 (課題・方向性):本事 ※ 欠 児 与 えることが き えることが き えることが き えることが 音 るる でき 、基 なが こ 智 習 越															
事務事業	所管課長名							)指標 (値指標化)	次年度 目標値	以[[]]日禄[[]		左記「事業費		(実績額)	」に係る財源			単位当たり コスト	目標達成率																		
番号					(	事務事業の目的 事務事業の対象、手段、意図)	指標		指標(単位)	目標値	事業費 (実績額) ①		特定財源		一般財源	人件費 (理論値) ②	トータル コスト ①+②				評	西	大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大														
	事務事業名							(単位)	実績値	指標の種類	実績値	(千円)	围	都	その他	特定財源に伴 う一般財源 一般財源	(千円)	(千円)	円	%			29年度の方向性 現状維持 総合評価 (課題・方向性) : 本本の音楽 (課題・方向性) : 本本の音楽 (課題・方向性) : 本本の音楽 (課題・方向性) : 本本の音楽 (課題・所活品の確し) : 本本の書名でき、基本が書ることでき、基本が書ることでき、基本の音楽できることできる。														
	指導室		■ 自主的 義務的 ■ (条例・規則等) □ (法律・政令等) □ (	子力義務的 法律・政・	う 令等) 終期				平成27年度	平成28年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度 平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	業務フローに改 善の余地がある	制度改正の 余地がある	29年度の方向性	現状維持													
	指導係	根拠 法令 等	東久留米市「子供土曜塾」実施要領		1	一对家	市立小学校児童		140	100		2 200	2 200			COL		2 000	00 403		説明:シルバー人材センおり、土曜塾協力員の人	、材育成や人材管	は、教育課程外の活	動であるため、児													
	指導室長参事事務取扱 宍戸 敏和	4					子供土曜塾(土曜日・放課後 に実施する教育課程外の教育		140		100	3, 890	3, 290			600	99	3, 989	28, 493		理、諸々の調整等の負担 現状では、改善点はない		えることができ、基	礎的・基本的な学													
		補助 事業	□ 該当 □ 行政 □ 政策的(改正実施:	年度 4	年度) 給付	事業 内容	活動)の実施にあたり、シル バー人材センター会員を土曜	1 033 965 777	平成26年度	学習意欲 の向上、 基礎的学	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度 平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	が自ら参加することに の向上につながり、			により、学習意欲 学習習慣の習得に													
12-02-13		市独自 上乗せ	□該当□上乗せ□横出し			整協力者として活用し、算数 土町 ・ 整協力者として活用し、算数 施匠の基礎的な問題についての採 施匠 ・ 点やアドバイスの支援を受け (回		施凹数		力の定 着、学習		0						0	#DIV/0!		効率性 3	達成度	的な学習内容の定着	や学習意欲の向上													
	子供土曜塾	特定 財源	の行無	□ の有無 ■ 該国 (廃止平及27年及)			(1-1)		習慣の確 立が図れ た児童数/								Ů	1121770.		説明:平成27年度より いる。試行期間を設けて 的に運営できている。	けていたため、効率	なるものであるため いく。なお、平成27	、今後も継続して 年度については、														
	, MT.BE	事業 形態	■ 直営 全部 一部 指定 (委託無) □ 委託 □ 委託 □ 管理	祖 一 補 金	助 口 その他( )	日的	り 児童の学習意欲の向上及び基 りない。またのか学習内容の名		平成25年度	参加児童 数(%)	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度 平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	いに座首でさている。		財源として国の地域生活等緊急支援交付	活性化・地域住民金を活用した。													
		近隣市 状況		東京市	口 その他 ( )	意図	礎的・基本的な学習内容の定 着、学習習慣の確立を目指 す					0						0	#DIV/0!																		
		その他	美行フラン	小部評価 3.七 茶 茶 が	□ 対象(平成 年度)		, .			増加を目 指す指標											## 2tr == 1 - 3t	Autorit Tra															
	指導室 特別支援教育係 指導室長参事事務取扱	+⊟ +hn	■ 自主的 ■ (条例・規則等) □ (法律・政令等) □ ( 東久留米市教育センター学校支援室記		令等)	対象	市立小・中学校児童・生徒、 教員		平成27年度	平成28年度 目標値	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度 平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	業務フローに改善の余地がある 説明:業務に関する手段	制度改正の 余地がある															
		法令等	木八田不中教育 ピング 子伏又仮主!	以但是占	1 女們		各学校からの依頼により、市		58	100		4, 387				4, 387	36	4, 423	76, 259		である。	(10 21 (10)	報化を背景に、児童 報技術の活用能力が	・生徒の通信、情 高まる中、教育現													
	日等主文のサチ伤 収収 宍戸 敏和	補助	行政		給付		立小・中学校の情報通信技術 の普及及び、コンピューター			_	100												行う情報教育支援事	業は、教員各自の													
40.00.44		事業	は □ 該当 □ 補完的 □ 収取的 □ 収取的 □ 収取的 □ 収取的 □ 収取的 □ 取取的 □ 取取的 □ 取取的 □ 取取的 □ 該当 □ 該		· 援順 有	研修の企画運営と情報教育支援員の派遣を行う。また、教育センターの情報機器や指導	学校から の要請及	平成26年度	子校からの要請及	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度 平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	****	***	い、児童・生徒への いる。手段や成果が	教育効果を上げて 目的に合っている														
12-02-14		土米已				教材の保管、貸出などの他、 教育委員会指導室主管事業の	び支援件 数(件)	67	び支援件 数/学校 訪問及び	100	4, 346				4, 346	35	4, 381	65, 388		効率性     2       説明:目的達成のための	<b>達成度</b> )活動や手段とし	ため、現状の体制維持	持が望ましい。														
	情報教育支援事業	財源事業	源 □ k3 □ n3 m3	,	支援を行う。		平成25年度	支援件数 総数(率)		可成25年度	亚式25年度	可は95年度	亚成05年度	平成25年度 平成25年度	可成25年度	亚成25年度	亚式25年度	平成25年度	て妥当である。																		
		形態 近隣市		□ その他(小平・西東京市は外部委託		市立小・中学校の通信、情報 に関する教育活動の充実を図		十成23年度	Ē	十成25年度	十成23年及	干灰23千及	十成23年及	干灰23千皮	十成25年度 十成25年度	一下以20平及	25年度 平成25年度 平	十成23千段	一一次23年及																		
		状況その他	財政健全経営計画 口 対象 人	小部評価	□ 対象(平成 年度)	- 意図			68	増加を目	100	4, 352				4, 352	36	4, 388	64, 529																		
	114 334	$\vdash$	夫打ノフノ 一	予力義務的 法律・政・		+			平成27年度	指す指標 平成28年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度 平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度		制度改正の余地がある	29年度の方向性	現状維持													
	指導室 指導係	+□ +bn	学力ステップアップ推進地域設置要項(東京社		T 号/	一対象	市立小・中学校			目標値											説明:東京都委託事業で 地はない。																
	指導室長参事事務取扱 宍戸 敏和	等					市が東京都の指定を受け、学		167		100	10, 854		10, 854			495	11, 349	67, 958				ら指導・助言を受け 員の指導力の向上が	ることにより、教 期待でき、同時に													
	210	補助事業	□ 該当 □ 行政 □ 政策的(改正実施:	年度 4	年度) 給付 □ 該当	内容	力定着アドバイザーを学校に派遣し、歩道力を向上される	I	平成26年度	基礎学力の定着を	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度 平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度			の学力の向上を図る	ことができる。今													
12-02-15		_	□ 該当 □ 上乗せ □ 横出し		1 * ***		ための校内研修・授業研究に取り組む。同時に、外部指導員を活用し、児童・生徒に補			図った児 童・生徒											効率性 3	達成度															
	学力ステップアッ プ指定地域事業	特定 財源	原止予定 の有無 ■ 該当 (廃止年度29:	年度)		7-10	は 員を活用し、児童・生徒に補 習や授業支援を行う。	人数(人)		数/補習や 授業支援 を受けた		0						0	#DIV/0!		説明:平成27年度より	実施															
		事業 形態	■ 直営 全部 一部 指定 (委託無) □ 委託 □ 委託 □ 管理	祖 金	助 □ その他( )	)	小・中学校の算数・数学・理	平	_  #		#		平成25年度	児童・生 徒数(%)	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度 平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度													
		近隣市 状況	□ 小平市 □ 東村山市 □ 清瀬市 □ 酉	東京市	■ その他(立川、東大和、双南村山、福生、あきる野、刊村、多塚、青塚、	目的 · 意図	科における教員の指導力向 上、児童・生徒の基礎学力の					0						0	0 #DIV/0!																		
		その他	財政健全経営計画 実行プラン 対象 タ	<b>小部評価</b>	□ 対象(平成 年度)	定着を目指す。	<u> </u>																	増加を目 指す指標		Ü						Ů	πD11/0:				
		(0)  8	実行ブラン   ログダー   ク	1 11 11 11 11	口 对象(干风 干反)	<u> </u>			<u>/</u>	指す指標									<u> </u>	/																	